

(法第28条第1項関係様式例)

## 令和2年度事業報告書

令和2年 4月1日から 令和3年 3月31日まで

特定非営利活動法人 言葉と心をむすぶ・ヒューマンハーバー

### 1 事業の成果

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
1 語り 読み聞かせ 朗読事業	なし。					
2 演劇 ライブ活動	なし。					

--	--	--	--	--	--	--

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
	なし。				

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 3 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 4 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

(法第28条第1項関係様式例)

令和2年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

令和2年 4月 1日から 令和3年 3月31日まで  
特定非営利活動法人 言葉と心をむすぶ・ヒューマンハーバー

科目	金額 (単位: 円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金	0		
.....			
2 事業収入	0		
.....			
3 .....			
.....			
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
講師料	0		
2 管理費	0		
.....			
.....			
経常支出合計		0	0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入			
.....			
2 .....			
.....			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出			
.....			
2 .....			
.....			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額 /			9000 ✓
次期繰越収支差額			9000 ✓

(法第28条第1項関係様式例、勘定式)

令和2年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和3年 3月31日現在

特定非営利活動法人 言葉と心をむすぶ・ヒューマンハーバー

科目	金額 (単位:円)		科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	9000		講師料	0	
出演料	0		.....		
			流動負債合計		0
流動資産合計		9000	2 固定負債		
			.....		
2 固定資産			.....		
			固定負債合計		0
			負債合計		0
固定資産合計		0	III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産		9000
			当期正味財産		
			増加額 (減少額)	0	9000
資産合計		9000	正味財産合計		9000
			負債及び正味財産		
			合計		9000

(備考)

- 1 ① の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他事業」と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 2 全事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

(法第28条第1項関係様式例)

令和2年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和3年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 言葉と心をむすぶ・ヒューマンハーバー

科目・摘要	金額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	0		
現金	9000		
出演料	0		
流動資産合計	9000		
2 固定資産			
土地	0		
固定資産合計	0	0	
資産合計	0		9000
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
講師料金	0		
流動負債合計	0		
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			
正味財産			9000

(備考)

1  ① の部分には、財産目録を会計ごとに区分して作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」、又は「その他の事業」と記載し、それぞれ別葉として作成する。(ただし、財産目録については会計ごとに作成せず、法人単位に作成することも考えられる。その場合、この書類の題名は、単に「財産目録」となる。)

2 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。